



公益社団法人

日本語教育学会

Association for Japanese Language Education

2022年度日本語教育学会秋季大会

地域発信企画

2022年11月27日(日) 12:00~13:10

コロナ禍における地域での外国人支援

地域発信企画は、日本語教育学会秋季大会の開催地を対象地域としながら、同地域の日本語教育の様々な取り組みや成果を全国に発信することを目的に開催されます。本年度の秋季大会はオンライン開催となりますが、開催が本来予定されていた関西エリアを対象に活動紹介を行います。出展者と参加者の情報交換や交流を通して、新たなつながりが生まれることを期待しています。是非ご参加いただき、多様性あふれる関西コミュニティの様々な日本語教育取り組みに触れ、ネットワークを広げてください。



参加方法：オンライン開催・参加費無料。各会場定員100名。

本企画は無料プログラムですので事前参加登録は不要です。

当日、時間になりましたら大会特設サイトの各会場「Zoomボタン」よりご参加ください。

詳しくはこちら：https://www.nkg.or.jp/event/2022/20221001_2161930.html

主催：公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会

〒101-0065東京都千代田区西神田2-4-1東方学会新館2F Tel 03-3262-4291 Fax 03-5216-7552

E-mail shibu@nkg.or.jp <https://www.nkg.or.jp>

第一部 12:00~12:30

第1会場

奈良県における外国人児童生徒等の支援ネットワークづくり

奈良・子どもの日本語教育ネットワーク/ 新谷 遥氏

本団体は、外国人散在地域である奈良県において、外国人児童生徒等に関わる支援者や支援団体が横のつながりを持つための場です。県内の子どもを取り巻く日本語教育の課題解決に向け、様々な立場で子どもの教育に携わる者同士が連携し、支援者の交流会・研修・相談対応などの活動を行っています。

第2会場

外国にルーツを持つ家族の未来に寄り添う教室

特定非営利活動法人 多文化センターまんまるあかし/ 久保 美和氏

本団体は、外国にルーツを持つ家族を支援するために「みらいのきょうしつ」を運営しています。この教室では、日本語だけではなく、教科学習支援、学校生活や進学・進級などで抱える疑問や不安などについても、できる範囲で支援できるように努めています。今回は、通常の日本語支援活動の他に、学習者や教育現場からの要望で行っている活動について紹介します。

第3会場

兵庫県地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

公益財団法人 兵庫県国際交流協会/ 篠原 典子氏・村上 由記氏・中川 歩美氏

当協会では、外国人県民がその居住地に関わらず、生活に必要な日本語学習の機会が得られる体制と多文化共生の社会づくりを目指し、令和元年度より体制づくり事業に取り組んでいます。各地域で行っているモデル事業の取り組みを中心に、県内全域に向けて行っているオンライン県民日本語講座や人材育成研修等をご紹介します。

第二部 12:40~13:10

第1会場

出展はありません。



第2会場

オンラインによる子育てのための漢字学習支援

『生活の漢字』をかんがえる会/ 川崎 百世氏・小野木 愛氏・高詰 祐子氏・新庄 あいみ氏・新矢 麻紀子氏

子育て中の外国人を対象にオンライン漢字教室を立ち上げました。「子育て」の漢字語彙やテーマの選定、日本語レベルや国籍関係なく参加者全員が学べる授業作り、教材の作成、ICTの活用等についてご紹介します。また、「生活の漢字」教室が大切にしてきた居場所づくりや学習機会保障をオンラインで実現するための工夫、コロナ後の文字学習支援の可能性についてもお話しします。

第3会場

関西ブラジル人コミュニティの歩み

NPO法人 関西ブラジル人コミュニティCBK/ 齊藤 美穂氏

関西ブラジル人コミュニティは、神戸地域で20年以上活動を続けるNPO団体です。神戸及び近隣府県に住む南米系出身者を中心とした外国人居住者の支援を行っています。当団体のこれまでの歩みと、多様な活動の中でも中心となっている、ブラジルルーツの子どもたちに対する母語及び日本語学習支援活動についてご紹介します。



公益社団法人

日本語教育学会

Association for Japanese Language Education